

【報道関係各位】

－ ハロウィンに関する意識調査 2016 －

ハロウィンにかかる予算は、平均 5,000 円。

一人あたりの予算は減るも、お金を掛ける人は 2 年で倍増。

首都圏では 3 割が「仮装する」。お出かけする街ランキング 1 位は「渋谷」。

一方で、「仮装大会と勘違い」、

街のゴミ問題「サッカーで日本サポーターがゴミ拾い、ハロウィンで出来ないのはおかしい」、

「11/1 をゴミ拾いキャンペーンにすべき」などの意見も

2016 年 10 月 13 日

株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表執行役 グローバル CEO：スコット・アーンスト）は、全国の 10～40 代の 1,000 人を対象に「ハロウィンに関する意識調査 2016」を実施しました。毎年 10 月 31 日に行われるハロウィン、今年もハロウィンにちなんだ商品やサービスがたくさん発売され、最近では人が多く集まるイベントも全国各地で開催されています。そこで、消費者の消費マインドの傾向、また、イベントへの意識等について探りました。また参考データとして、東京近郊に住む 10～40 代の 1,000 人を対象に実施した調査結果もご紹介します。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は 2016 年 10 月 6 日（木）～10 月 7 日（金）。

【調査結果の詳細】

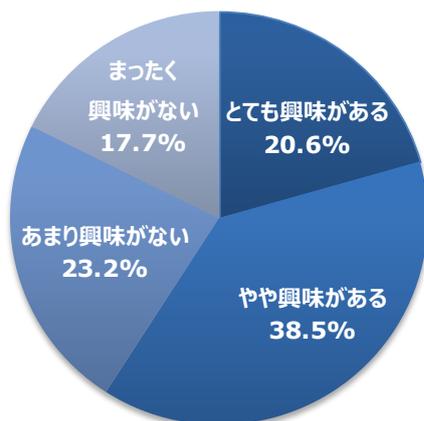
■ ハロウィンに「興味あり」59%。興味がなくとも、ハロウィン商品をつい買ってしまう人も・・・。

まず、全国にお住まいの 10～40 代 1,000 名に、ハロウィンにどのくらい興味があるかたずねたところ、59%が「興味がある（とても興味がある+やや興味がある）」と答えました。【図 1】

また、ハロウィンにちなんだ商品やサービスへの消費マインドにおいては、64%が「買う（つい買ってしまう+すぐ気に入れば買う）」と答えており、ハロウィン商戦の盛り上がりが予想されます。【図 2】

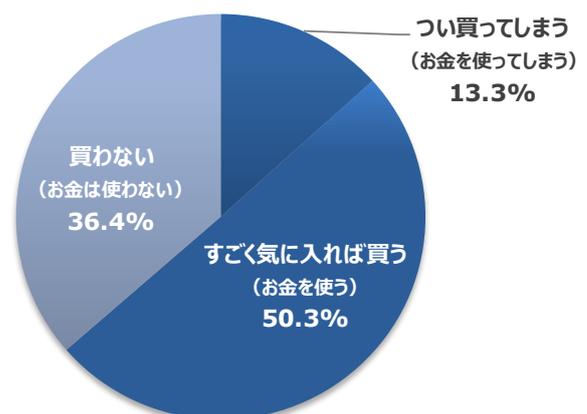
【図1】 ハロウィンに興味がありますか？

(対象：全国1,000名)



【図2】 ハロウィン商品・サービスへの消費マインド

(対象：全国1,000名)

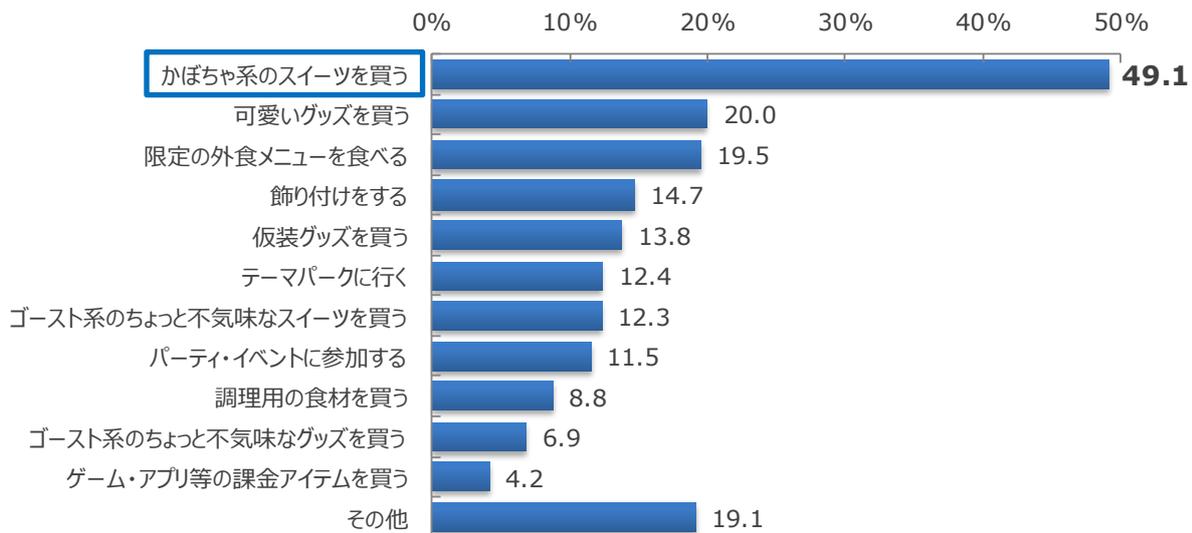


■ **ハロウィンのお買いものランキング、「かぼちゃのスイーツ」がダントツで、2人に1人が購入！**

ハロウィンにちなんだ商品やサービスについて、何を買うかたずねると、1位は「かぼちゃ系のスイーツ」で49%、つまり2人に1人が買うことがわかりました。2位は「（ハロウィンにちなんだ）可愛いグッズ」20%、3位は「限定の夕食メニュー」20%でした。【図3】

【図3】ハロウィンのお買いものランキング

(対象：全国1,000名)



■ **ハロウィンにかかる予算は、平均 5,000 円。一人あたりの予算は減るも、お金を掛ける人は 2 年で倍増**

ハロウィンにちなんだ買い物をする人に今年の予算をたずねると、全体の平均は 4,958 円で、男性は 5,328 円、女性は 4,669 円でした。

一昨年に実施した同様の調査における全体の平均は 6,240 円で、2 年経った今年は 1,282 円マイナスの平均額となりましたが、一方でお金を掛ける人の人数が、28%から 64%と 2 倍以上に増えています。最近では、安価で手に入るグッズも多く発売されていることなどから、ハロウィンを気軽に楽しむ人が急増しているようです。

【図4】ハロウィンにかかる予算の平均金額

(対象：予算を掛ける人)

2016年調査		2014年調査	
対象者	平均金額	対象者	平均金額
全体 (641名)	4,958円	全体 (281名)	6,240円
男性 (281名)	5,328円	男性 (110名)	7,274円
女性 (360名)	4,669円	女性 (171名)	5,575円

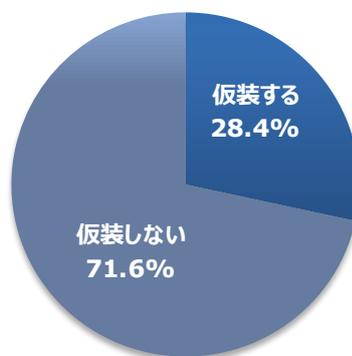
昨年は、仮装した人が大勢集まる街での楽しいニュースや残念なニュースがメディアで多数報道されました。ここからは、**東京近郊**（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）にお住まいの方にハロウィンの仮装やパーティ等について聞いた調査結果をご紹介します。

■ **仮装をする人は3割、仮装でお出かけする街ランキング1位は「渋谷」**

ハロウィンに仮装をするかたずねると、「仮装する」人は28%、仮装してお出かけする街は「渋谷」がダントツで40%でした。1都3県で仮装をする人の、実に2~3人に1人が渋谷に集結する計算となります。次いで、人気の街2位は「六本木」17%、3位「横浜」13%と続いています。【図5】【図6】

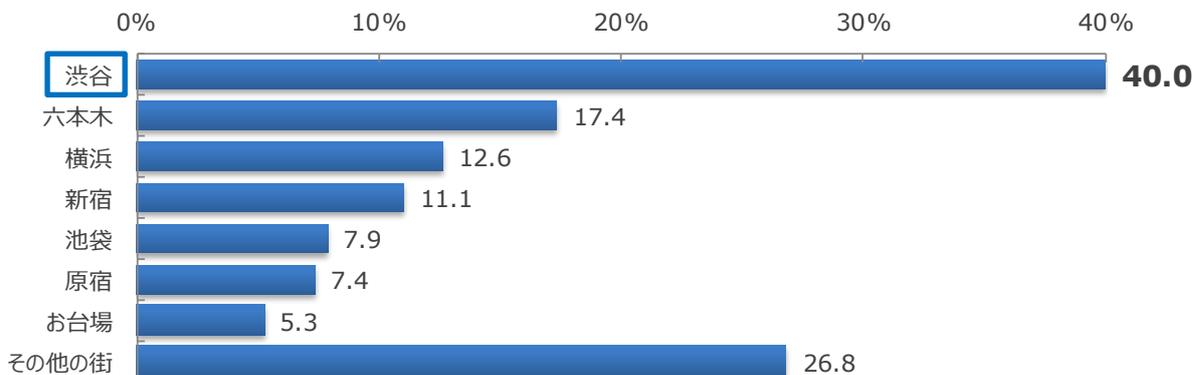
【図5】ハロウィンに仮装をする？しない？ <1都3県編>

(対象：1都3県在住1,000名)



【図6】ハロウィンに仮装してお出かけする街ランキング <1都3県編>

(対象：1都3県に在住し、ハロウィンの仮装でお出かけする人190名)



■ **ハロウィンで混雑する街のゴミ問題に対する、全国の人々の考え、**

「サッカーで日本サポーターがゴミ拾い、ハロウィンで出来ないのはおかしい」

「ハロウィンを仮装大会と勘違いしている日本人。悲しい気がします。」

「仮装したゴミ回収モニターみたいなのがいたら、楽しいかも！」 「11/1をゴミ拾いキャンペーンに」

ハロウィンの仮装イベントが年々盛り上がっていく一方で、深刻な問題となっているゴミ問題。混雑が予想される街では、ハロウィンデザインのゴミ袋を配布するなど対策がされています。そこで全国の1,000名に、ゴミ問題に対する考えを

自由記入でたずねました。「ゴミ箱の設置と監視をすべき」、「サッカーで日本人サポーターがゴミ拾い、ハロウィンで出来ないのはおかしい」「11/1をゴミ拾いキャンペーンなどにすべき」などの回答が集まり、課題意識を持つ人が多く、また、それに対する具体的な対策や提案を考えている人も多くいるようです。

【図 7】 ハロウィンによる街のゴミ問題に対する考え（対象：全国 1,000 人から一部抜粋）

ゴミ問題についての張り紙や、テレビでの呼びかけなどを事前にしっかりとしてもらえたら、皆さんの意識も変わるのではないかと思います。（青森県 / 17 歳 学生）
自分で出したゴミは自分で持って帰るという習慣が薄れつつあるように感じる。またその対策としてゴミ箱の設置、ゴミ箱に不審物を入れるようなことがないようにする監視が必要であると思う。（東京都 / 15 歳 学生）
すごく問題だと思う！ その中で仮装してゴミを片付けてる人を Twitter などでも見て感動した！ 拾う活動ができなくても、ゴミを持ち帰るという面で貢献したい。（東京都 / 19 歳 学生）
個人のモラルに依存する問題なので解決は難しい。例えばハロウィングッズの販売場所にゴミ処理費用の募金箱を設置して、ゴミ処理の費用をまかなう等、公平なコスト負担方法を工夫する等。（東京都 / 49 歳 会社員）
サッカーの国際大会のときはごみ拾いをするのに、ハロウィンのごみ拾いしないのはおかしい。（千葉県 / 17 歳 学生）
ゴミ問題が深刻なら、ハロウィンは禁止にするべきだと思う（大阪府 / 22 歳 学生）
ゴミ拾いもイベントの一部にしないと、マナーの悪い人のせいでイベントの楽しみが減る気がします。（大阪府 / 33 歳 パート・アルバイト）
花火大会もだけど、ゴミは持ち帰るのが当たり前！！腹が立ちます。（大阪府 / 35 歳 自由業）
遺憾。ハロウィン関係なくゴミはちゃんと持ち帰るべき。ドンちゃん騒ぎのあとが大切。（福岡県 / 26 歳 パート・アルバイト）
11/1をゴミ拾いキャンペーンなどにすればいい。（兵庫県 / 20 歳 学生）
仮装したゴミ回収モニターみたいなのがいたら、楽しいかも！（滋賀県 / 28 歳 専業主婦（主夫））
ハロウィンを仮装大会と勘違いしている日本人。悲しい気がします。（鹿児島県 / 46 歳 パート・アルバイト）

【調査概要】

調査方法： インターネットリサーチ
調査日時： 2016 年 10 月 6 日（木）～10 月 7 日（金）
調査機関： 株式会社マクロミル

・全国編

調査対象： 全国 15～49 歳の男女 1,000 名（マクロミルモニタ会員）
割付方法： 性別×年代別（10、20、30、40 代）の均等回収

・1 都 3 県編

調査対象： 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県在住の 15～49 歳の男女 1,000 名（マクロミルモニタ会員）
割付方法： 国勢調査による、エリア×性別×年代別の人口動態割付

【本資料・データの使用・掲載について】

本資料・データを使用・掲載される際には、必ず「マクロミル調べ」と出典の明記をお願い致します。

以上

－ 本調査に関するお問い合わせ先 －

株式会社マクロミル 広報室：度会（わたらい）
TEL：03-6716-0707 MAIL：press@macromill.com